

2021年度 本部 事業報告書

1、理念

ひとり一人の意欲を大切に、たくましく、かしこく、やさしく育つことを願いながら、発達の弱さをもつ子どもの含め、0歳から学童、大人まで共に育ち合う共同の子育てをめざします。

2、2021年度の目標

現場職員が福祉事業に専念できるよう、事務の省力化・効率化を図る
長期的に安定した社会福祉事業を実施するため、資金面の体制強化を進める

3、本部の実施事項

(1) 法人運営

方針：社会福祉法・定款に基づき、適正な法人運営と意思決定の手続きを行う。

- ・理事会・評議員会の開催

定期評議員会 年1回

理事会 年4回 法人 事業報告書のとおり

- ・監事監査の開催

定時監事監査 令和3年5月28日 実施

- ・評議員選任・解任委員会 令和3年7月11日 実施

- ・執行理事会議の開催 月1回 実施

(2) 会計管理

方針：経理規程に基づき、会計士の指導を得て、適正な会計管理を行う。

- ・概ね3ヶ月毎に実績より予算の見直しを行い、年3回の予算修正を行った。

(3) 労務管理

方針：就業規則に基づき、社会保険労務士の指導を得て、適正な労務管理を行う。

- ・入職者7名、転居2名、退職4名、労災保険適用2名の各手続きを、社会保険労務士の指導により行った。
- ・臨時特例交付金による、職員の処遇改善手続きを行った。
- ・小学校休業等対応助成金の対象者（1月～3月）について、助成金申請を提出予定（令和4年5月提出）
- ・職員の勤怠管理の省力化については、令和4年4月よりタイムカードを廃止し、ICTシステム（パステル）を活用した出退勤管理を試行している。
- ・住民税、所得税については、本部にてeTaxおよびeLtaxを導入し、オンラインでの納付とした。

(4) 施設・環境・備品の管理と整備

方針：各事業所の要望・整備計画に基づき、計画的な整備を実施する。

- ・恵の実保育園の借地（97番、98番）について、境界確定と分筆、共有物分割登記を行い、各筆の半分の面積を購入した。（12月完了）
- ・中京馬主協会の助成をいただいて、恵の実「ステップくん」で送迎車両

- ・(ルーミー)を購入した。(11月完了)送迎車両(マーチ)を廃車とした。
- ・赤い羽根共同募金の助成をいただいて、恵の実保育園でジャングル登降棒を購入した。(11月完了)
- ・相談支援事業所「恵の実」で中古軽自動車(ムーヴ)を購入した。(2月)
- ・法人車両については法定点検・整備とタイヤ交換、ガラス交換、物損事故の対応を行い、新規導入車両にはドライブレコーダーを設置した。
- ・リース期間満了による新規サーバーの入れ替えとデータ移行を実施。
- ・各事業所の事務職員が中心となり、ICTシステム(パステル)を活用した、メール配信やアンケートの実施、園児の出欠席の自動集計等、事務効率化を推進した。
- ・各助成金をいただいて実施した設備拡充に伴う自己負担額の支出により、積立は実施できなかった。令和4年度も赤い羽根共同募金によるLPガス非常用発電システムの導入が決まっているが、令和4年度は並行して計画的な資金の積立を目指す。

(5) 各種届出・報告の実施、情報公開

方針：法人として公開すべき情報を期日までに正しく公表・報告する。

- ・財務状況入力システム、障害福祉サービス等情報公開システムへの報告。
- ・定款変更の認可申請(基本財産追加)
- ・保育園変更届出(運営規程変更)
- ・障害福祉施設の自己評価、事業報告書、財務諸表等の公表(ホームページ)
- ・日中一時支援事業所の開設にかかる申請手続きの実施。

(6) 所轄庁による監査

方針：東三河広域連合監査、愛知県健康福祉部による監査対応、改善事項の対策

- ・東三河広域連合監査 令和4年1月20日実施、指摘事項なし。
- ・愛知県健康福祉部監査 令和4年1月20日実施
文書指摘事項について改善済み。

(7) 調査研究

方針：研修の受講や他法人の情報収集、書籍等により、社会動向、法制度改革の流れを調査研究することで、理事会の意思決定をサポートする。

- ・研修受講はなし。